

第45回 生理学技術研究会参加報告

共通機器部門・情報基盤機器管理班 新開 薫

1. はじめに（目的等）

理工医学系大学・共同利用研究機関の技術職員が、日々、業務作業工程・研究補助等で、従事を行う際に合理的・簡素化、失敗や成功事例の報告等含めた案件を発表者及び参加者同士にて、奨励研究・ポスター口演発表の場を通じて、情報交換・討論意見を行いながら、業務に関わる技術や関係性がある技術も含めて、最新動向の情報収集・技術知識習得することを目的に参加した。

（第34回生物学技術研究会と合同開催）

2. 期間・場所

期間：令和5年2月16日（木）～17日（金）

場所：オンライン開催（zoom形式）

3. 参加者等

国立大学法人・公私立大学法人等・及び大学共同利用機関法人(情報・システム研究機構・核融合学・遺伝子学・基礎生物学・生理学・分子科学等研究機構)の技術職員、168名程度

4. 研修内容

1日目・研修講演 脳波非線形ダイナミクスのデータ解析と数理モデル化による計算論的神経科学研究
生理学研究所 神経ダイナミクス研究部門 北城 圭一 教授（main roomにて聴講）

・奨励研究採択課題技術シンポジウム発表 ブレイクアウトルームから room1, room2 に参加移動して聴講。奨励研究採択発表後、room1a, 1b, 1c・room2a, 2b, 2c へ移動して、各発表との 個別・集団質疑応答及び情報共有意見交換を行う。 計 12 件

2日目・ポスター口演発表 初日の奨励研究採択の発表方式で行う。各発表者との個別・集団質疑応答及び情報共有意見交換を行う。 計 28 件

・特別講演 生理学技術研究会を振り返って 生理学研究所 技術課 大河原 浩 課長

・6施設によるオンライン施設見学会。

5. まとめと感想

奨励研究・ポスター口演発表を通じて、動物生物植物の育生・飼育に関わる保全・環境改善・機器導入の自動化及び生態構造への観察経過の研究開発に関心と興味を持ち得た。研究・情報基盤系は、金属加工の接着剤活用やWeb カメラを用いた瞬き検出システムの開発等、利用方法・作業技術・創意活用を遂行したい。新型コロナの影響から、3回目のオンライン開催になり、操作進行運営形態は理解できたが、配属先の参加なので、依頼者から技術的質疑相談・事務的補佐・研究作業補助等を随時対応しており、所々の聴講になり、集中できるハイブリッド開催の現地参加が望ましいです。